

## 定期報告

2011年5月13日

天候:晴れ 温度:22°C 湿度:56% 風:やや強い

放射線量:0.11  $\mu$  Sv/h(20:10):持参線量計 palmRAD Dosimeter Model 1621M (BNC)

食事 朝:トースト、ベーコンエッグ、サラダ

昼:肉じゃが、オレンジ、アスパラ、ご飯、スープ

夜:マーボー茄子、さくら肉の卵とじ、ご飯、スープ

氏名:坂本賢

体調:良好

行動日誌

7:00:弘前出発

9:30 東和 IC

11:30:大槌高校到着

12:00:午前の診察終了

昼食前に、JMAT 青森チーム(松原医師、赤平看護師長、松平看護師)

長野チーム「東御市民病院チーム」(長野県小県医師会:奥泉医師、小林薬剤師、篠原看護師、田村看護師)に挨拶。

青森チーム7名で食事。

12:30:石崎・肥後薬剤師と業務の引き継ぎ。業務の流れを確認。

13:00:午後の診察開始

14:30:つくし薬局から調剤済み薬品搬入、本日受付分の処方せんをつくし薬局へお渡し。

15:00:くすりの受取りにいらっやいました。

16:00:救護所での診察終了(患者数26名(午前:午後=16:8))

16:10:釜石へ向けて出発

16:45:釜石到着

17:00:釜石災害対策会議、不足分医薬品を発注(2品目)

18:15:大槌高校着

本日午後から大槌高校にて支援活動へ参加することになりました。

3月、4月に続き今回で3度目の被災地となりますが、今回の第一印象としては、がれき撤去が進み、自衛隊車両が激減し民間企業の車両が多く見受けられた。

## 引き継ぎ事項

- ・患者受付→診察→救護所外処方(または調剤)までの一連の流れ
- ・救護所外処方の台帳について
- ・避難所救護所の鍵
- ・つくし薬局(救護所外処方受付薬局)への連絡方法、薬剤師の連絡先、救護所外処方せんオーダー時間

- ・時間外(当直時)の対応方法
- ・不足医薬品の発注方法
- ・在庫管理、在庫薬品台帳
- ・現地での物資調達先

### **保険医療機関への誘導**

救護所内での業務の多くは、慢性疾患への対応であり、処方せんへ追記し救護所内で対応する急性疾患は稀。

釜石での災害対策会議においても、多くの医療チームが慢性疾患への対応をしており、今後は保険診療を行う病院へ行くように被災者を誘導している。また、夕食後の長野、青森チームでの話の中でも、積極的に保険医療機関へ誘導するために、新しい情報を提供できる準備をすすめることになった。

### **大槌高校避難所**

本日、大槌高校の避難者数は前日から+2名。240名となった。

保健師さんの話では、大槌高校避難所に入ること「食事や医療の不安がない」との理由で戻られるケースがあるとのことでした。

感染症は、今週始めに他の避難所にて消化器系感染症が報告されたが、大槌高校では発生していない。そのため、次亜塩素酸ナトリウム溶液は用事溶解へ変更でもよいことを、松原医師より了解をいただいた。

その他の感染症については、釜石市内でインフルエンザの流行を警戒しているとのことでした。

### **14日朝礼での確認事項**

最新版の保険医療機関リストの確認(現在は5月6日版)

湿布の在庫について(モーラステープ20mgについて)

次亜塩素酸ナトリウム溶液の希釈オーダー方法

氏名;長尾 勇志(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

7時00分 本部出発。雨のため安全運転を心掛け運転開始

10時30分 休憩。坂本賢薬剤師へ運転交代。

11時00分 釜石町は地震があったとは思えないくらい綺麗な街並みが並ぶ。  
大槌町に入るとテレビで見ていた光景がよみがえってきた。  
大地震、津波の恐ろしさを改めて身に感じました

11時30分 少し迷いながらも、大槌高校へ無事到着

12時00分 松原医師チーム、東御病院チームへ挨拶。松原医師チームと昼食

12時30分 診察室にて石崎・肥後薬剤師より引き継ぎ

13時00分 午後の診察開始

普段の業務では味わうことのない処方せん業務の流れ、カルテの記載確認、  
薬袋作成、薬歴システムのない投薬。不慣れながらも精一杯頑張りました。  
なかなか引継ぎだけでは業務の流れが不透明な部分もあったため、  
東御中央病院の小林薬剤師に流れを教えてくださいました。

16時00分 診察終了(患者数8名)

被災後の生活による精神的ストレス、不安、節々の痛みを訴える患者様が  
いらっしゃいました。  
松原医師には、痛み止めの外用剤選択を提案させて頂きと貴重な体験が  
できたと思います

16時30分 松原医師チームと釜石災害対策会議へ出発

17時00分 シープラザ釜石にて災害対策会議開始。

救護所受診時、元々のかかりつけの医療機関を確認して、地域の医療機関への  
誘導を行っていくことを確認。  
口頭だけではなく、地図の配布など情報を確認しながら随時進めていく必要が  
大切だと確認。

18時00分 大槌高校へ帰着。犬に噛まれた患者を長野チームが処置していた。

キシロカインの在庫が少ないため、翌日以降注文確保できるか確認していきたい  
帰途、小槌神社となりの診療所へ。大槌高校の医薬品の倉庫保管分  
について確認。小槌神社では神社自体が津波も火災の影響も避けるように  
建っていた。神秘的な力が存在しているように思える場所でした。

19時00分 坂本賢薬剤師の味付けにておいしく食事を松原医師チームといただきました。  
松原医師の高校、大学時代の話、看護師さんとの病棟、仕事業務などをお話。  
引継ぎ直後は固くなってしまったが、少し打ち解けたと思います。

22時00分 就寝

大槌高校へ入って思ったことが生徒、ボランティア、被災した方々。  
みんながすれ違うときに挨拶をかわす。自分が高校生のように同じ境遇に

あったと仮定してもそれができたであろうか。非常に感動した。  
明日以降、今日の反省点を生かして業務につなげていきたいと思います。

氏名:佐藤 栄

体調:良好

行動日誌

6:00 起床

7:00 朝食

8:45 ミーティング

9:00 診察開始

9:45 工藤課長(総務)同行で買い出しと引継ぎ準備

11:30 昼食準備

12:00 昼食

13:00 午後の診察開始

13:45 大槌町に出来る仮設診療所の視察及び坂本薬剤師同行でつくし薬局訪問

16:30 釜石シープラザ 釜石災害対策会議参加

18:00 大槌高校到着

大槌病院仮設診療所の場所も確保されているようです。早く建物も出来きて欲しいです  
かなりの早さで整備されて来ています。